

奈良先端科学技術大学院大学 学術リポジトリ(NAISTAR)の構築について

学術情報課情報サービス・電子図書館係

井上敏宏 大西賢人

1. 学術リポジトリとは
 2. メリット
 3. 収録範囲 (初期公開時)
 4. 予算
 5. 実施計画
 6. 登録作業
 7. 今後の展望
-

1. 学術リポジトリとは

大学および研究機関で生産された電子的な知的生産物を収集、蓄積、保存し、フリーで公開、発信するためのインターネット上のアーカイブ

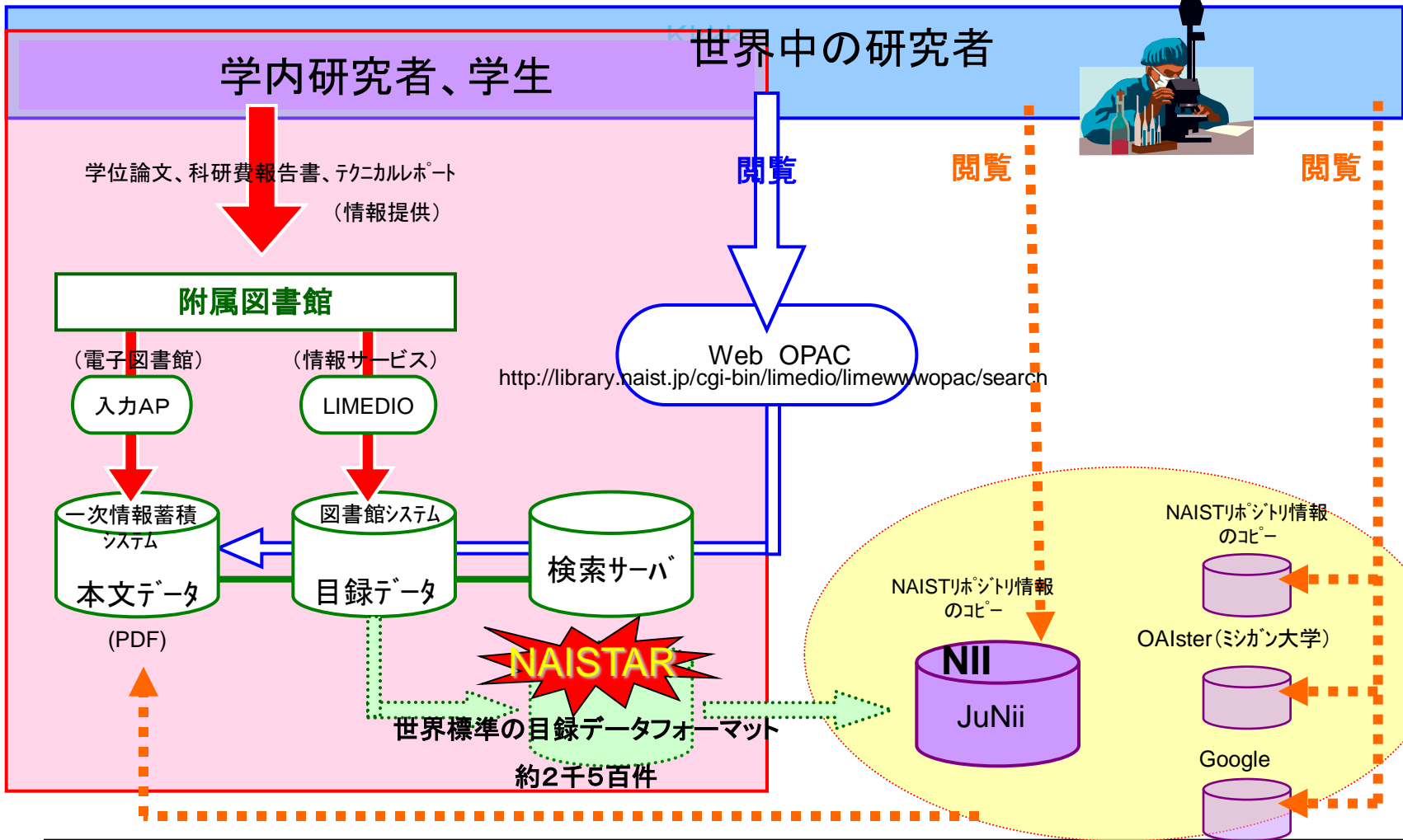
仮称: NAISTAR

NAra Institute of Science and Technology Academic Repository の略称

中期計画: 61. 研究成果を広く世界に積極的に発信する方策を拡充する。

- リポジトリを構築することで拡がる発信情報
- リポジトリを構築することで期待できるアクセス
- 学内での情報提供
- 従来のアクセス

奈良先端科学技術大学院大学



2. メリット

- ・大学からの研究教育成果の組織的な発信
 - ・大学の研究教育成果に対する可視性とアクセシビリティの向上
 - ・研究者の研究インパクトの向上 (論文の被引用率アップなど)

 - ・社会に対する説明責任の保証
 - ・産学連携・地域貢献の推進、研究成果の社会還元
 - ・大学のブランド力の向上

 - ・電子図書館のコンテンツとして永続的に保存
-

3. 収録範囲 (初期公開時)

電子図書館に収録済みのフリーコンテンツ

学位論文	1,978	修士論文 1,543 博士論文 435
科学研究費補助金報告書	236	
情報科学研究科テクニカルレポート	122	
講演ビデオ	195	
合 計	2,531	



NAIST Repository: NAIST - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス http://library.naist.jp:8080/dspace/handle/123456789/1

DSpace™

[DSpace Softwareについて](#)

リポジトリ検索

検索

詳細検索

ホーム

ブラウズ

- コミュニティ & コレクション
- タイトル
- 著者
- 日付

登録利用者:

- 購読情報編集
- マイリポジトリ登録利用者
- 利用者情報編集
- ヘルプ
- DSpaceについて

NAIST Repository >

NAIST

コミュニティ・ホームページ

検索対象: NAIST

検索語

検索

あるいは、ブラウズ

タイトル 著者 日付

このコミュニティのコレクション

- [technical report](#) [122]
- [ビデオ](#) [195]
- [科研費](#) [236]

このコミュニティのサブ・コミュニティ

- [学位論文](#) [1978]

最近登録されたアイテム

[複製終結領域の役割と複製フォーク進行阻害の生物学](#)

[視覚の生物物理学](#)

[表面新物質創成とナノバイオサイエンス](#)

[STM studies of ultrathin magnetic layers](#)

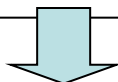
[MgO on Ag \(001\): an insulator at the ultrathin limit](#)

4. 予算

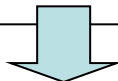
コンテンツの保管庫である電子図書館システムに対する入口の増加

現状 (初期テスト)

既存の電子図書館検索サーバにフリーソフトウェア”DSpace”搭載



試行期間



本格的に公開

継続的、安定的に運用していくためには、専用サーバを導入する必要がある。

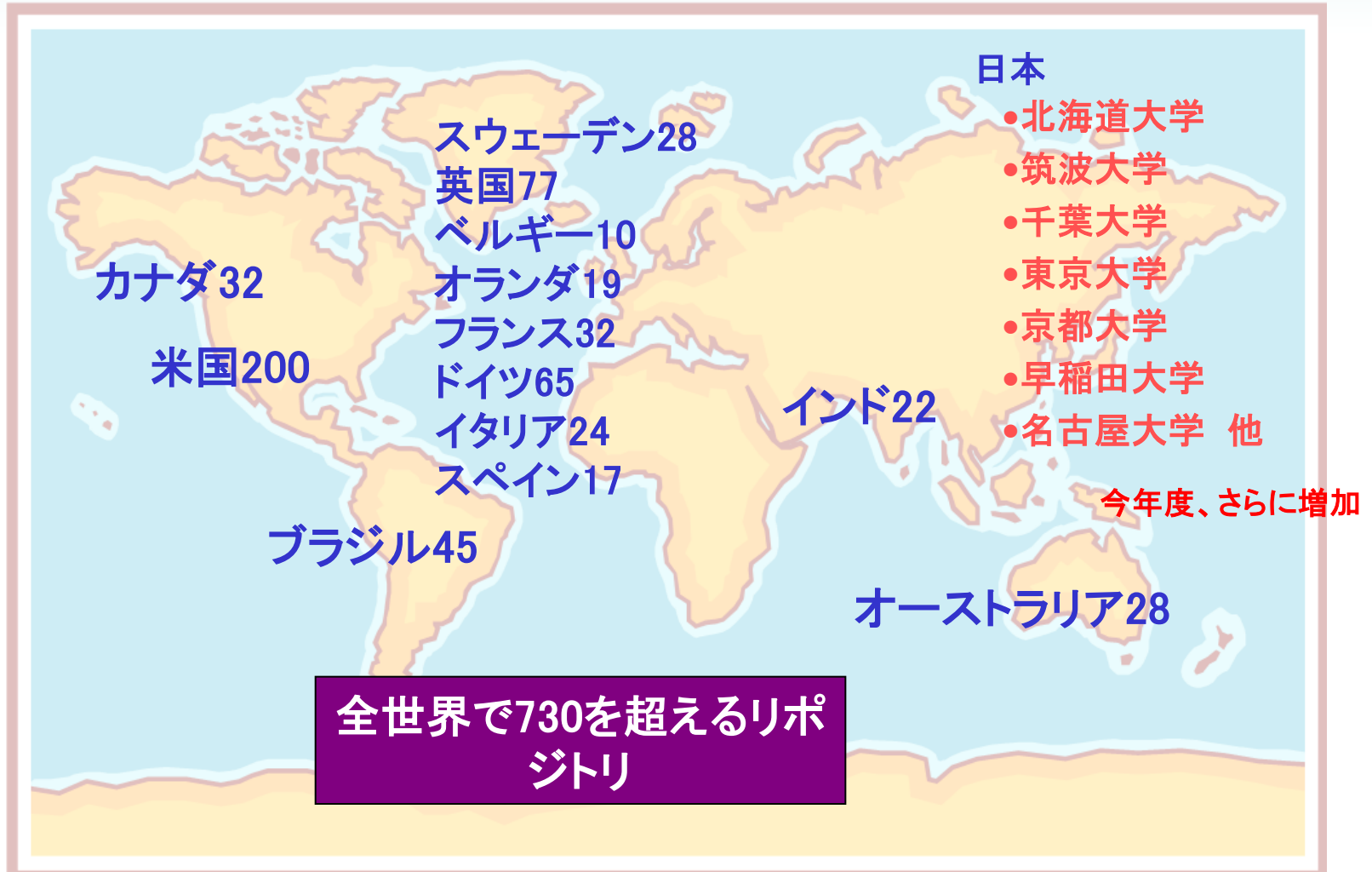
電子図書館システム予算の一環として、次期リプレイス (平成19年12月) 時に約120万円必要です。

4. 予算

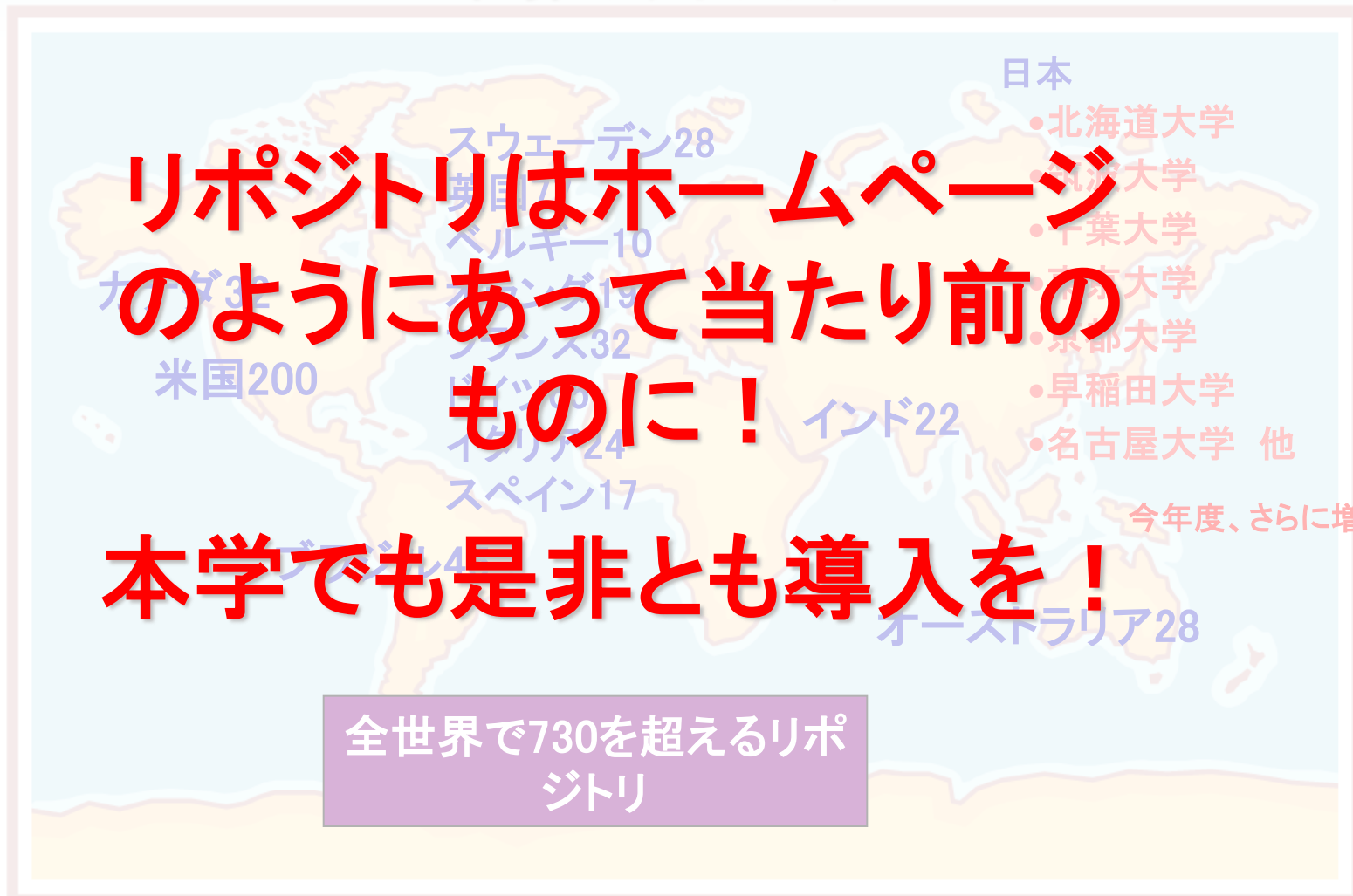
電子図書館システム予算の一環として、次期リプレイス(平成19年12月)時に約120万円必要です。

是非、予算の確保を
お願い致します。

世界のリポジトリ



世界のリポジトリ



5. 実施計画

平成18年10月～12月：システム調整

平成19年11月：試験公開

平成19年12月：電子図書館システムリプレイス

⇒コンテンツ保存のためのサーバ等が更新

平成20年 2月：本格稼動

6. 登録作業

コンテンツの収集

電子図書館コンテンツ収集方針に基づき、
教員、学生からコンテンツを提供してもらう



電子図書館に登録

著作権処理後、電子図書館システムに登録



新規必要作業

NAISTARに登録

電子図書館システムのデータを流用登録

7. 今後の展望

さらなるNAISTARの充実に向けて...

既に電子図書館システムにあるコンテンツの公開条件の見直し

学内限定公開コンテンツを学外公開促進

研究成果物の収録件数および範囲の拡大

科学研究費補助金報告書(公開承諾件数が少ない)

学術雑誌論文

教育資料の提供

講義資料の収集